

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 222 (通算 540 回)

2012 年 12 月 1 日 (土)

ユニバーサルな学修&ライフサポート——

「困り」「つまづき」支援体制の新展開Ⅱ

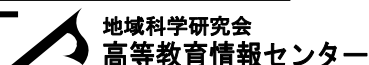
～ 高大の途切れない支援/発達障害学生の修学環境整備/ピアサポート/入学から卒業へ～

- ※ 高校から大学へのシームレス包括支援～受験期・入学直前直後の対応/大学間の地域連携
- ※ [群馬大] 小中高の特別支援教育/支援体制の構築/関係者が必要性を感じた場合/情報保障
- ※ [南山大] 修学達成への仕掛け/ピアサポート“セトゼミ”/“こころのストレッチ”
- ※ [龍谷大] 発達障害サポート体制の拡充/コーディネータによる多者面談/社会での受容

● 講師陣 ●

西村優紀美 氏 / 富山大学 保健管理センター 准教授
 霜田 浩信 氏 / 群馬大学 教育学部障害児教育講座 准教授
 早川 徳香 氏 / 南山大学 保健室室長
 須賀 英道 氏 / 龍谷大学 保健管理センター センター長

2012 年 12 月 1 日 (土) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



日 時 : 2012 年 12 月 1 日 (土) 9:50~16:50
 会 場 : 日本教育会館 (東京・神保町)
 千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833
 アクセス : 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」
 A1 出口より徒歩 3 分
<http://www.jec.or.jp/koutuu/>
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので、必ずご確認ください。

参加費 : A. ご一名 (資料代込) 42,000 円 (消費税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 43,000 円 (送料、消費税込)
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または E-mail にてご送付ください。
 支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 口座名 < (株) 地域科学研究会 >
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。
 申 込 先 : 地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel : 03 (3234) 1231 / Fax : 03 (3234) 4993
 E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 URL : <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

☆ FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 222

2012 年 月 日

「困り」「つまづき」支援体制の新展開Ⅱ

当日参加 メディア参加
 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

メールアドレス _____

TEL _____

FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (郵便振替 当日払い 銀行振込) 必要書類 (請求書 見積書)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:50 ～ 11:20	<p>□ 高校から大学へのシームレス支援 ～とぎれない包括的支援の取り組み～ 富山大学 西村優紀美</p> <p>1. 高校生活における受験期に課題 (1) 進路選択のための情報収集 (2) 受験対策と生活の安定 (3) 高校の進路指導のあり方 (4) 大学入試対策</p> <p>2. 大学入学直前・直後の対応 (1) 大学への支援の引き継ぎ (2) 入学までの準備 (3) 入学直後の支援のあり方 (4) いくつかの事例</p> <p>3. 高大連携～とぎれない包括的支援 (1) 大学が求められる受け入れ体制とは (2) 大学の地域間連携 (3) これからの包括的支援の可能性 〈質疑応答〉</p>
11:30 ～ 12:50	<p>□ [群馬大] 全学と個別へ柔軟に対応する障害学生支援の展開 ～学修支援体制の実際/個別指導計画の工夫～ 群馬大学 霜田 浩信</p> <p>1. 小中高等学校における特別支援教育</p> <p>2. 群馬大学における障害学生に対する支援体制 (1) 学生支援センターに位置づく障害学生支援室 (2) 障害学生支援室の構成メンバーと業務の内容</p> <p>3. 発達障害学生に対する支援体制構築までのプロセス (1) 本人から相談または支援の申し出がある場合 (2) 関係者が支援の必要性を感じた場合</p> <p>4. 群馬大学における発達障害学生への支援内容 (1) 学部教職員による履修相談 (2) 障害学生サポートルームによる授業における情報保障 (3) 健康支援総合センターによるメンタルヘルス 〈質疑応答〉</p>
13:50 ～ 15:20	<p>□ [南山大] 修学達成への仕掛けづくり～セットゼミの実際 ～自尊心の高まりに着目した学生支援～ 南山大学 早川 徳香</p> <p>1. ここでもう一度発達障害についてのおさらい (1) 発達障害について (2) 自閉症スペクトラムについて (3) 歴史上の偉人にみられる自閉症スペクトラムらしさ (4) 現代の大学における自閉症スペクトラムの諸問題</p> <p>2. 修学支援ピア・サポートグループ『セットゼミ』 (1) 『セットゼミ』とは？ (2) 『セットゼミ』と集団作業療法的レクリエーションプログラム『repos (ルポ)』 (3) 『セットゼミ』の運営方法と学内支援体制 (4) 事例提示</p> <p>3. 支援の展開と課題 (1) 小集団認知行動療法グループ『こころのストレッチ』の導入 (2) 学内支援に“乗っかれる”学生と“乗っかれない”学生 (3) 今後の支援課題～より早期に、より丁寧に？ 〈質疑応答〉</p>
15:30 ～ 16:50	<p>□ [龍谷大] 発達障害サポート体制の拡充 ～入学時から卒業、そして社会へ～ 龍谷大学 須賀 英道</p> <p>1. 発達障害概念の再考 (1) 増加する発達障害 (2) 発達障害診断の意義 (3) 学生に見られるコミュニケーション状況</p> <p>2. 大学でのサポート体制 (1) サポート導入 (2) コーディネーターによる多者面談の実施 (3) くつろぎ空間の設置 (4) 一般学生によるサポート</p> <p>3. 今後求められるサポート体制 (1) 自己特性の認知と周囲の受容性 (2) 自己の持つ強みの向上 (3) 社会における役割分担 〈質疑応答〉</p>